

今、授業改革が始まる！

平成30年度 室戸市立室戸小学校版

算数科における 資質・能力の育成を目指した 授業づくりのポイント

新学習指導要領を踏まえた教育実践にチャレンジ

研究の概要

今年度はこれまでの成果・課題を土台に、新教育課程を踏まえた教育実践に引き続き挑戦するため、研究内容と方法を設定し、「主体的・対話的で深い学び」が実現した児童の姿を目指した。

授業研究においては事前研究会に軸を置き、さらなる教材の価値獲得を図るため、新学習指導要領解説と教材との結び付けや、付けたい力の明確化、先行授業や模擬授業での授業構成の具体化に取り組み、算数科の本質に迫る授業を探究した。

研究内容と方法

- 育成すべき資質・能力の共通理解**
 - 教材の価値の深掘り
 - 成長する見方・考え方の理解
- 授業づくりの具体化**
 - 事前研究会に重点
 - 学びの事実に基づく授業分析
- 検証の視点の改善**
 - 室戸小版授業力チェックシートの改善
- 根拠を明らかにした説明ができるような手立ての工夫**
 - 思考や表現のスキルの明確化と段階的な指導
 - 授業ノート、板書の共有
- 生徒指導の3機能を生かした授業づくり**
 - 3機能についての研修を設定
 - 3機能のチェックリストを意識した授業

「論理的思考力・表現力を高める授業の創造」
「学び合いを軸にした授業づくり」
主体的・対話的で深い学び

教材価値の深掘り

教材研究会



学年間の単元の系統や本単元のねらい等の確認をし、単元構想を練る。

教材と新学習指導要領を繋げる。

指導案検討会



改善案を協議する。

先人、先達の知恵に学び、何のために学ぶかという意義を踏まえた授業を目指す。

模擬授業



授業構成の具体化を図る。

新学習指導要領を踏まえた教育実践

従来の型に拘泥しない柔軟な問題解決のプロセスに挑戦

第1学年 「ひきざん」(東京書籍) 全12時間

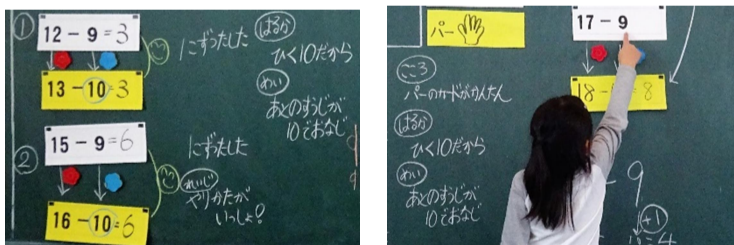
単元の目標 11~18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることができるようにする。

本時の目標 減法に関して成り立つ性質を生かして、よりよく問題解決する。(学びに向かう力・人間性等)

授業の視点 減法に関して成り立つ性質を使って、繰り下がりのある減法計算をよりよく問題解決しようとしている。(観察・発言・ノート)

本時(10/12)では、減法に関して成り立つ性質を活用して、新たな減法計算の仕方を生み出していく数学的活動を設定し、繰り下がりのある減法計算を工夫して解決した。

減数と被減数に同じ数を足しても引いても答えは変わらない。



被減数と減数に着目して数の変わり方を意識することは、関数的な見方の素地育成にも繋がると考え、授業では小刻みな振り返りを行い、見方・考え方を整理していく。そうすることで学びの対象がより正確なものになり、全ての児童がねらいに迫れると考える。

中学校での学びを意識した授業展開(データの活用)

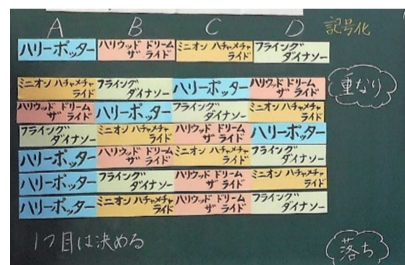
第6学年 「並べ方と組み合わせ方」(東京書籍) 全5時間

単元の目標 起こり得る場合を順序よく整理するために図や表などの使い方を知り、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。

本時の目標 順列について、落ちや重なりのないように調べる方法を考え、その方法を理解する。

(学びに向かう力・人間性等、思考力・判断力・表現力等)
授業の視点 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考えることができる。(観察・ノート)

本時(1/5)では、単元の導入で、全ての場合を順序よく列挙して工夫して調べることができるようにすることをねらいとしている。修学旅行でUSJに行ったとき乗りたい乗り物を、事前に児童に書かせたものを紹介することで、落ちや重なり気付かせる。一つを固定したり記号を使ったりする方法を児童の考えから取り上げ、実際に調べていくことでそのよさを実感させるとともに、全体で共有しながら落ちや重なりなく調べる方法をまとめていく。



教師の変化

- 授業改善の意識の向上
 - 室戸小版研究協議の方法が定着しつつあり、事前研究会では自分事として協議に参加し、よりよい授業にするための話し合いを重ねることができた。
 - より質の高い教材解釈ができるよう、普段から熱心に教材研究をしたり、先進校視察や各種研修会に積極的に参加したりする等、主体的に学ぶ姿が見られた。

今後の重点

- 教材と新学習指導要領の指導内容を結び付ける教材研究や単元構想力
 - 教材の理解を一層深めるために、単元のねらいや前後の学年、校種間の系統を踏まえた教材研究をしていく。
- 教育課程全体を見通す意識の向上
 - カリキュラム・マネジメントの視点で算数科以外の教科や領域にも本研究の学びを汎用し、教育活動の充実を図る。